

# 放課後子ども教室県中地区研修会

目的： 放課後子ども教室推進事業に関する講演や先進的な取組の実践発表を聞いたり、成果や現状について協議したりすることにより、実践に生かすための研修会を行い、事業に携わるコーディネーターやボランティア人材の資質向上を図る。

日時：平成29年8月23日（水）10：00～16：00

会場：たまかわ文化体育館 参加者：40名

## 講演 1 「子どもたちに伝えるほめ方、指示の出し方」

講師：あさかストレスケアセンター 副センター長 鈴木 泰子 氏

これまでの豊富な経験を基に、ほめ方や指示の出し方のポイント、ほめ方の行動を見つけるためのヒントなどについて、楽しく、分かりやすくご講演をいただいた。子どもが安心して育つためには、「ほめる」「認める」「感謝する」ことが大切であり、ほめ方として、「近くによる」「目を見る」「声を明るくする」「表情を豊かにする」「動作を含める」といったポイントについてお話をいただいた。

### 【受講者の声】

- 「100%でなくていい、25%くらいできたら、それをほめる、自分も自信を持っていい」ととても気持ちが楽になりました。
- 「ほめる」を上手につかって、自分も子どもたちも明るく、楽しく、安心できる居場所づくりをしたいと思います。



## 実践発表 「石川町の放課後子ども教室の実践」

講師：石川町教育委員会主任主査兼生涯学習係長 藁谷 哲男 氏  
石川町放課後子ども教室コーディネーター 熊井トシエ 氏

石川町の2つの放課後子ども教室について、活動内容や運営方法、課題や悩みなどについて、具体的に発表があった。準備いただいた実施要項やメニュースケジュール、教室通信、実施状況等の資料も他の教室でも大いに参考となるものであった。

### 【受講者の声】

- 聞いていて、子どもたちが楽しそうに活動している様子が目にうかんできました。子どもたちにとってとてもよい場所になっていると思いました。
- 決められた時間の中で、とても充実した実践が行われていると思いました。



## 講演 2 「健やかに育む放課後子ども教室の環境づくり」

講師：福島県教育庁社会教育課 社会教育主事 笠原 聡

県内の放課後子ども教室の設置状況や事業の趣旨、放課後子ども総合プラン、今後の地域における学校との協働体制の在り方等について、県の担当者が説明をした。

### 【受講者の声】

- 「放課後子ども総合プラン」の全体像が見え、児童クラブとの一体型や連携型について知ることができました。
- 国の考え方やイメージが見え、今後の教室運営において大変参考になりました。



## 情報交換 テーマ：「各教室での取組と課題」

放課後子ども教室コーディネーター、安全管理員、放課後児童クラブ、行政関係者に分かれて、1グループ3～7名で情報交換を行った。話題が焦点化され、深まりのある話し合いとなった。

### 【受講者の声】

- 他の市町村も同じような課題や問題を抱えており、お互いに情報交換をすることができてよかった。
- 他の教室の楽しさや大変さ、状況を知ることができ、とても参考になった。



## 実技研修 「子どもたちの好奇心を呼び起こす工作教室」

講師：ふくしま森の科学体験センター（ムシテックワールド）浦山裕子氏、塩澤仁行氏

身近にある物で、時間やお金がかからず、簡単にできる工作をムシテックワールドのスタッフの方からご指導をいただいた。ペットボトル空気砲、ペーパージャイロ、ヘリコプター、ペーパーバズルの4つの工作を体験した。

### 【受講者の声】

- とても楽しく工作に取り組みました。教室に持ち帰り、子どもたちみんなと楽しみたいと思います。
- 以前からムシテックワールドの工作教室に参加したいと思っていました。今回参加できてよかったです。またぜひ参加したいと思いました。

